

伐採に係る森林の状況報告書

記載例: 伐採方法が皆伐の場合

令和〇年〇月〇日

伐採後30以内に提出すること。

萩市長 田中文夫 様

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

伐採届の伐採者が報告すること。

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2. 伐採の実施状況

必ず森林所有者の確認を受けること。

伐採面積	0.03 ha (うち人工林 0.02 ha)		
伐採方法	主伐 (皆伐・択伐)・間伐	伐採率	100 %
	森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無: 有・無		
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき、ざつ	実際に行った伐採の期間を記入すること。	
伐採齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路 (幅員2.5m、延長200m)		
	架線・その他 ()		

報告者が届出者と異なる場合は、その理由を記入すること。

3. 備考

報告者が届出書と異なる理由: 令和〇年〇月〇日に社名変更

【適合通知又は確認通知: 令和〇年〇月〇日付け萩林第〇〇号】

【伐採者の担当: 〇〇〇〇、連絡先: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇】

適合通知又は確認通知の日付・番号を記入すること。

報告者が法人等の場合は、担当者の氏名・連絡先を記入すること。

伐採に係る森林の状況報告書

記載例：伐採方法が**択伐**の場合

令和〇年〇月〇日

伐採後30以内に提出すること。

萩市長 田中文夫 様

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

伐採届の伐採者が報告すること。

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2. 伐採の実施状況

必ず森林所有者の確認を受けること。

伐採面積	0.03 ha (うち人工林 0.02 ha)		
伐採方法	主伐(皆伐・ 択伐)・間伐	伐採率	30 %
森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無： 有 ・無			
作業委託先	〇〇森林組合		
伐採樹種	すぎ、ひのき、ざつ		
伐採年齢	50(50~60)年生		
伐採の期間	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日		
集材方法	集材路 (幅員2.5m、延長200m) 架線・その他()		

実際に行った伐採の期間を記入すること。

報告者が届出者と異なる場合は、その理由を記入すること。

3. 備考

報告者が届出書と異なる理由：令和〇年〇月〇日に社名変更

【適合通知又は確認通知：令和〇年〇月〇日付け萩林第〇〇号】

【伐採者の担当：〇〇〇〇、連絡先：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇】

適合通知又は確認通知の日付・番号を記入すること。

報告者が法人等の場合は、担当者の氏名・連絡先を記入すること。

伐採に係る森林の状況報告書

記載例：伐採後に転用する場合

令和〇年〇月〇日

伐採後30以内に提出すること。

萩市長 田中文夫 様

報告者 住所 萩市江向〇〇番地
(伐採者) 氏名 〇〇〇〇株式会社
代表取締役 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

伐採届の伐採者が報告すること。

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

2. 伐採の実施状況

必ず森林所有者の確認を受けること。

伐採面積	0.03 ha (うち人工林 0.02 ha)
伐採方法	主伐(皆伐・択伐)・間伐 伐採率 100 % 森林所有者(造林する者)の伐採跡地の確認の有無: 有・無
作業委託先	〇〇森林組合
伐採樹種	すぎ、ひのき、ざつ 実際に行った伐採の期間を記入すること。
伐採齢	50(50~60)年生
伐採の期間	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日
集材方法	集材路(幅員2.5m、延長200m) 架線・その他() 転用の具体的な用途・予定時期を記入すること。

3. 備考

宅地造成(転用予定時期: 令和6年8月)

【適合通知又は確認通知: 令和〇年〇月〇日付け萩林第〇〇号】

【伐採者の担当: 〇〇〇〇、連絡先: 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇】

適合通知又は確認通知の日付・番号を記入すること。

報告者が法人等の場合は、担当者の氏名・連絡先を記入すること。

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

記載例：造林の方法が人工造林の場合

令和〇年〇月〇日

造林後30日以内に提出すること。

萩市長 田中文夫 様

伐採届の造林者が報告すること。

報告者 住所 萩市土原〇〇番地
(造林者) 氏名 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

実際に実施した造林の内容を記入すること。

2. 伐採後の造林の実施状況

	造林の	造林の	造林の	造林別の造林面積	樹種別の造林面積	作業委託	鳥獣害
人工造林	植栽	R7.4.1~ R9.3.31	すぎ ひのき	0.20 ha 0.10 ha	400 本 100 本	〇〇森林 組合	防護柵の 設置
天然更新	—	—	—	— ha	— 本	—	—

3. 備考

報告者が届出者と異なる場合は、その理由を記入すること。

報告者が届出書と異なる理由：令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇から相続(共有者：〇〇〇〇ほか〇名)
【適合通知又は確認通知：令和〇年〇月〇日付け萩林第〇〇号】

<注意事項>

- 森林の所在場所ごとに記載すること。適合通知又は確認通知の日付・番号を記入すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には「植栽」又は「人工播種」の別を、天然更新による場合には「ぼう芽更新」又は「天然下種更新」の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他針葉樹、ぶな、くぬぎ、その他広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、少数第3位を四捨五入し、少数第2位まで記載すること。
- 人工造林による場合において複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種(「その他広葉樹」でも可)を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

伐採後の造林に係る森林の状況報告書

記載例：造林の方法が天然更新の場合

令和〇年〇月〇日

伐採届の天然更新の期間の末日から30日以内に提出すること。

萩市長 田中文夫様

伐採届の造林者が報告すること。

報告者 住所 萩市土原〇〇番地
(造林者) 氏名 〇〇〇〇
連絡先 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

令和〇年〇月〇日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき、次のとおり伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の8第2項の規定により報告します。

1. 森林の所在場所

萩市大字〇〇字〇〇 〇〇番地

実際の天然更新の状況を記入すること。

2. 伐採後の造林の実施状況

	造林の	造林の	造林の	造林別の造林面積	樹種別の造林面積	作業委託	鳥獣害
人工造林	—	—	—	— ha	— 本	—	—
天然更新	天然下種更新	R7.4.1~ R12.3.31	その他広葉樹	0.30 ha	— 本	—	特になし

3. 備考

報告者が届出者と異なる場合は、その理由を記入すること。

報告者が届出書と異なる理由：令和〇年〇月〇日に〇〇〇〇から相続(共有者：〇〇〇〇ほか〇名)

【適合通知又は確認通知：令和〇年〇月〇日付け萩林第〇〇号】

<注意事項>

- 森林の所在場所ごとに記載すること。適合通知又は確認通知の日付・番号を記入すること。
- 造林の方法欄には、人工造林による場合には「植栽」又は「人工播種」の別を、天然更新による場合には「ぼう芽更新」又は「天然下種更新」の別を記載すること。
- 樹種は、すぎ、ひのき、まつ(あかまつ及びくろまつをいう。)、からまつ、えぞまつ、とどまつ、その他針葉樹、ぶな、くぬぎ、その他広葉樹の別に区分して記載すること。
- 面積は、少数第3位を四捨五入し、少数第2位まで記載すること。
- 人工造林による場合において複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。
- 天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種(「その他広葉樹」でも可)を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には「別添のとおり」と記載することができる。
- 鳥獣害対策欄には、防護柵の設置、幼齢木保護具の設置などの方法を記載すること。

5年後において的確な更新がなされない場合は、その後2年以内に植栽を行い、その状況について人工造林に準じて状況報告書を提出すること。